

平成29年度 埼玉県学力・学習状況調査概況

平均正答率(%)

・1年

国語	
幡羅中学校	64.7
深谷市	64
埼玉県	64.4

・2年

国語	
幡羅中学校	61.8
深谷市	58.2
埼玉県	59.1

・3年

国語	
幡羅中学校	59
深谷市	56.6
埼玉県	57.2

数学	
幡羅中学校	69.4
深谷市	66.2
埼玉県	65.9

数学	
幡羅中学校	65
深谷市	55.3
埼玉県	54.8

数学	
幡羅中学校	56
深谷市	53.3
埼玉県	55.3

英語	
幡羅中学校	62.7
深谷市	58
埼玉県	59.7

英語	
幡羅中学校	63.2
深谷市	60.3
埼玉県	61.7

幡羅中の「良かった点(○)」と「課題(●)」

【国語】

- 全学年とも、県の正答率を上回ることができた。
- 文章の意味を読み取り、簡潔に答えを書くことができる。
- 自分の思いや考えを適切なことばで簡潔に表現することや、同音異義語等意味や使い方などについて、正答率が低くなっている。

【数学】

- 全学年とも、県の正答率を上回ることができた。
- 特に2年生は、昨年度の県の正答率との差を比べると大幅に差が開き、正答率が高くなっている。
- 1年生は、「分数の計算を用いて文章題を解くこと」、2年生は「ヒストグラムをもとに説明すること」3年生は「グラフをもとに、傾きやyの増加率を考えること」や「三角形の合同証明」に関する正答率が低い。

【英語】

- 全学年とも、県の正答率を上回ることができた。
- コミュニケーションへの関心が高く、特に「聞くこと・書くこと」について正答率が高い。
- 基本的な語彙や文法語法についての知識の正答率がやや低くなっている。

課題への取組・改善点

【国語】

- ・自分の思いや考えを、適切なことばを選択して、論理的かつ簡潔に表現できるようにするための課題の提示を、授業の中で位置づける。
- ・基礎基本の定着を徹底的に図る。

【数学】

- ・授業時に他の生徒と説明しあう活動を取り入れ、小グループでの説明の場、全体への説明の場をもうけるなど、表現することに慣れさせていく。

【英語】

- ・テスト形式で、単語や熟語を定期的にかきかせる場面を設定する。
- ・ペアワークを利用して、声に出して文法を定着させる場面を設定する。
- ・繰り返し問題演習をする。

【その他】

- ・始業から終業まで、授業規律の徹底に今後も引き続き努める。